

沖縄労働局管内における熱中症による労働災害事例(令和7年、休業4日以上)

(令和8年3月集計)

| 番号 | 所轄署 | 災害発生日 | 業種 | 年齢 | 性別 | 休業見込期間 | 災害発生状況 | 屋内・屋外 |
|----|--------|-------|--------|-----|----|--------|---|-------|
| 1 | 沖縄(中部) | 6月上旬 | 建設業 | 40代 | 男 | 7日 | 工事現場でトラックを誘導し、荷降ろし準備中に熱中症により痙攣し倒れ、その勢いで頭を停車中のトラックにぶつけた。 | 屋外 |
| 2 | 名護(北部) | 6月下旬 | 接客娯楽業 | 40代 | 女 | 4日 | 屋外のカフェテラスで顧客対応の準備中、炎天下での作業のため、熱中症による脱水、気分不良となった。 | 屋外 |
| 3 | 宮古 | 6月下旬 | 保健衛生業 | 50代 | 女 | 4日 | ビニールハウス内で灌水作業を行っていた。ハウス内は約40度で休憩をせず作業を行っていたところ熱中症となった。 | 屋内 |
| 4 | 那覇(南部) | 6月下旬 | 運輸交通業 | 20代 | 男 | 7日 | 乗り継ぎ手荷物を仕分けするエリアで、一人で荷物を載せる空のカートを手力で引っ張ろうとした際に、手足の痙攣によりその場で倒れこんだ。意識はあり、会話もできる状況だったため、その場にいた社員数名で日陰に移動させ身体の冷却と水分補給を実施したものの痙攣状態が改善されず、救急搬送となった。 | 屋外 |
| 5 | 沖縄(中部) | 6月下旬 | 建設業 | 40代 | 男 | 4日 | 地上6メートルのスラブ上において、型枠の建込み作業中に熱中症によりめまい、立ち眩み、背中、足、腰の痙攣を発症した。 | 屋外 |
| 6 | 那覇(南部) | 6月下旬 | 警備業 | 50代 | 男 | 6日 | 建築現場入退場ゲート前道路上で、工事車両の現場内入退場の交通誘導業務を行っていたところ、急な体調不良によりその場に座り込んでしまった。 | 屋外 |
| 7 | 那覇(南部) | 7月上旬 | その他 | 50代 | 男 | 9日 | シーツやテーブルクロスを洗濯中に熱中症を発症した。作業場内では、スポットクーラーやこまめな水分補給等を実施していた。 | 屋内 |
| 8 | 八重山 | 7月上旬 | 建設業 | 40代 | 男 | 7日 | 会社のヤードにおいて、資材の準備や積み込み、草刈り作業中に熱中症を発症した。 | 屋外 |
| 9 | 沖縄(中部) | 7月中旬 | 製造業 | 30代 | 男 | 10日 | 製品製造室内で、高所へのモーター取り付け作業を行っていた。室温40度程度の環境下で、休憩をはさみつつ午前中作業を実施したところ、熱中症を発症した。 | 屋内 |
| 10 | 沖縄(中部) | 7月下旬 | 清掃・と畜業 | 50代 | 男 | 20日 | 炎天下の屋外現場で、ごみ処理作業を行っていたところ熱中症を発症した。作業着・ヘルメットを着用し、こまめな休憩・水分補給を行っていた。 | 屋外 |
| 11 | 沖縄(中部) | 7月下旬 | 保健衛生業 | 50代 | 女 | 9日 | 施設の調理場において利用者、職員用の給食・おやつの調理を行っていたところ、頭痛、しびれを感じ、動けなくなり救急搬送され、熱中症と診断された。当日は、調理メニューが揚げ物だったため通常より調理場の室温が高くなっていた。調理場では冷房、扇風機の設置・稼働を行っていた。 | 屋内 |
| 12 | 八重山 | 8月上旬 | その他 | 50代 | 男 | 7日 | 船着き場で、たも網を用いて海藻等の漂着ごみの除去作業を実施していた。脱水、蒸し暑さを感じる中での作業で気分が悪くなり休憩しようとして腰かけたところで意識を失った。 | 屋外 |
| 13 | 那覇(南部) | 8月中旬 | 警備業 | 70代 | 男 | 14日 | 炎天下で電柱工事の交通誘導警備を行っていたところ、休憩中にトイレに向かうときに倒れた。当日は、朝からお腹の調子が悪かった。 | 屋外 |
| 14 | 名護(北部) | 8月中旬 | 接客娯楽業 | 40代 | 女 | 11日 | 娯楽施設の遊具周辺で3時間ほど顧客対応を行っていたところ、頭の火照りやめまいを感じ体調不良となった。最高気温31度日陰の少ない場所での業務であった。 | 屋外 |
| 15 | 八重山 | 8月下旬 | 接客娯楽業 | 50代 | 男 | 7日 | 宿泊施設の駐車場にて午後から草刈り作業を行っていたところ30分ほど経過して、嘔吐したため早退し帰宅。帰宅後症状が悪化したため救急搬送された。当時の気温は33.5度、湿度68%の状況であった。 | 屋外 |
| 16 | 名護(北部) | 9月下旬 | 建設業 | 60代 | 男 | 4日 | 護岸工事において、作業台船上で単管組立作業中に両手足が攣ったため、1時間ほど冷房の効いた休憩所で横になり休憩していたが、症状が改善されず病院に搬送し、熱中症と診断された。 | 屋外 |

出典：労働者死傷病報告